

そこば聞きたか!!

一般質問

15人の議員が古川市政を問う

掲載している内容は6月13日から16日に行った市政一般質問の要旨です。
また、市議会ホームページでは各種議会情報、会議録の閲覧のほか、議会中継（生放送・録画放送）を見ることができます。

問 熊本地震による影響



新風会 上田 義定 議員

Q 熊本地震が発生したが、本市の被災状況、眉山や普賢岳（溶岩ドーム）への影響はあったのか。また、市民が安心安全な生活を送るために市民への情報提供はどうされたか。

A 建物では窓ガラスの割れ、壁の剥離などがあつたが、人的被害や道路等に大きな被害はなかった。眉山や溶岩ドームでは小規模・軽微な崩落はあつたが、治山・砂防施設で十分対応でき、直ちに被害を及ぼすものではない。情報については正確な状況を伝える必要があるため、関係機関と連携して情報発信を行ったが、周知不足であつたならば反省材料である。

Q 新庁舎はどれくらいの震度まで耐えられるのか。

A 震度七相当の地震が発生した場合

問 入札制度について

合でも、内装や設備等の補修後は建物を使用できるような計画である。

Q 電気計装工事について、入札参加資格要件が厳しく、市内の業者がほぼ参加できない状況である。地場産業の育成のため、要件を緩和して市内業者に実績を積ませるような方法はできないか。

A 今後、特定建設工事共同企業体方式による参加を検討したい。

Q 道路や公園などの公共施設を、市民団体や民間業者が清掃や美化活動に取り組むアダプト制度を、入札における評価項目に導入する考えはないか。

A 地域貢献のための制度であり、建設工事業者の格付けの際、十分検討に値するものだと考えている。

【その他の質問項目】

○人口減少対策について